

「気仙沼まるごとジオパークMAP」の配布を始めます

—MAPを手に気仙沼の魅力を体感—

■「三陸ジオパーク（※）」は、青森県八戸市から宮城県気仙沼市までの海岸線約300km、面積約6,000km²を超える日本最大規模のジオパークとして平成25年9月に認定されました。

（※）ジオパークとは、地球活動の遺産を見どころとし、自然の恵み・厳しさと人との共生を体感する野外博物館の構想。

■このたび、気仙沼市域における「三陸ジオパーク」の魅力を広く発信し、多くの人に訪れ体感していただくために、三陸ジオパーク気仙沼推進協議会（会長：気仙沼市教育長 白幡勝美）が「気仙沼まるごとジオパークMAP」を作成しました。

■5月1日から観光案内所などで3,000部配布する予定です。

■今後も、ジオパークを探索するツアーの企画など、ジオパークを活用した気仙沼の魅力発信に努めていきます。

[気仙沼まるごとジオパークMAPの概要]

- ・MAPの地図面では、市内20カ所のジオポイント（体感ポイント）を紹介するとともに、地層を色分けし地質年代を一目でわかるようにしています。
- ・MAPの解説面では、気仙沼における地形、地質、歴史、動植物、人々の暮らしなどの魅力ある特徴を、「春・夏・秋・冬」の季節ごとに紹介しています。
- ・表紙については、眺望が良いことに加え、被災した内湾地区の復旧・復興を願うという意味も込め、安波山から見た内湾の景色としました。